

## 秋田県のと畜場搬入豚における *Escherichia albertii* の 保菌状況及び飼育農場環境の汚染状況

須田朋洋<sup>1)†</sup> 今野貴之<sup>2)</sup> 福田有希<sup>1)</sup> 佐藤 唱<sup>1)</sup>

- 1) 秋田県食肉衛生検査所 (〒018-5141 鹿角市八幡平字川部内川原 62-1)  
2) 秋田県健康環境センター (〒010-0874 秋田市千秋久保田町 6-6)

(2022年12月29日受付・2023年3月28日受理・2023年6月15日公開)



本文はこちら  
[https://www.jstage.jst.go.jp/article/jvma/76/6/76\\_e157/\\_article-char/ja](https://www.jstage.jst.go.jp/article/jvma/76/6/76_e157/_article-char/ja)

### 要 約

豚における *Escherichia albertii* 浸潤状況を明らかにするため、秋田県のと畜場搬入豚及びその飼育農場環境における検出状況を調査した。Nested-PCRによるスクリーニング試験の結果、豚直腸便の *E. albertii* 陽性率は21.9%で、保菌率の高かった農場では環境試料からも検出された。菌株分離を行い、豚直腸便5検体と農場内の敷料（バイオベッド）5検体から菌株を得た。分離株はいずれも病原遺伝子として *eae*, *paa*, *Eacdt* を保有し、O抗原遺伝子型がEA0g25で、一部を除きパルスフィールドゲル電気泳動によるPFGEパターンも類似していた。これらの結果より、秋田県のと畜でも *E. albertii* は比較的高率に保菌され、一部の農場内では特定の *E. albertii* が飼育環境を汚染していたことが示された。——キーワード：バイオベッド, *Escherichia albertii*, *paa*, と畜場, 豚。

----- 日獣会誌 76, e157～e163 (2023)